

(新規) 統合型公共施設予約システム構築事業

現状

公共施設の利用については、オンライン予約が可能な施設とそうでない施設が混在し、申請や予約確認の方法等も各課で対応が異なり統一されていない。また、鍵の受渡しも開庁時間内に管理する部署へ取りに行き、使用後に再び返却する必要があるため、利用者にとって負担となっている。

課題

【窓口・電話・紙台帳管理】

施設予約システムが未導入の施設では、施設の利用について窓口への訪問もしくは電話での問い合わせとなっており、閉庁時は利用の希望に対応できておらず、市内施設の運用においても統一化がなされていない。

また、いずれの施設も納付書での納付となっており、キャッシュレスに対応できていない。

【物理的な鍵の受渡し】

開庁時間内に、市役所や総合体育館等の窓口へ「物理的な鍵」を取りに行き、使用後に再び返却する必要があり、利用者にとって移動コストが生じている。



取組内容

公共施設を利用するにあたり、開庁時間に関わらず、施設利用の申込みから使用料の決済、施設の開場及び施錠までの業務を一体管理できるシステムを構築し、公共施設の受益の拡大と利便性の向上を図る。

【提供サービス】

- ① 統合型施設予約システムの構築
- ② キャッシュレス決済機能(クレジットカード、QRコード/バーコード等)
- ③ スマートロックシステム

香南市で貸出可能な施設がシステムで一望できることで、施設の利用希望者は、いつでも、どこでも、空き状況の確認、利用申請、予約確認が行えるようになる。また、キャッシュレスによる支払い方法の多様化、人を介しての鍵の受渡しがなくなることで、移動コストと時間的制約から解放され負担の軽減につながる。

